

みんなの市議会

第4回12月定例議会概要……1・2
一般質問……2～4
委員会報告……4～7
特別委員会報告など……7・8
所管事務調査報告……8
行政視察など……9・10
人事案件など……10
議会からのお知らせ 他……11

水産施設の津波災害復旧に予算措置 総合体育館の指定管理を体育協会に決定 まなびの里条例を制定

第66号
2012.2.1

2012年1月8日の成人式にて、伊達市議会広報特別委員会として成人の方数人にインタビューを行いました。

① お世話になった人への感謝の言葉や今後の意気込み ② 成人として今後どのような伊達市に住みたいか

青木梨理子 (あおき りりこ)

- ① ありがとうございます。ビッグな人になります。
- ② 穏やかですてきな伊達市。

加藤 健斗 (かとう けんと)

- ① 成人まで育ててくれてありがとう。立派な大人になるよ。
- ② にぎやかで活気のある町。

菊田 梨紗 (きくた りさ)

- ① 無事、成人となることができました。立派な大人になれるよう、努力を忘れず頑張ります。お父さんお母さんありがとう。
- ② 帰ってきたくなるような町。

佐伯 美穂 (さえき みほ)

- ① 今日まで育ててくれた家族、お父さん、お母さん、おばあちゃんへ。ありがとう！素敵な保育士になります！
- ② 若い人からお年寄りまで、仲良く暮らせるような優しい町！



菅原 絢 (すがわら あや)

- ① いつも助けてくれたお母さんへ。大人になった自覚をもっていきたい。
- ② お年寄りや体の不自由な人たちに優しい町。

杉本穂乃花 (すぎもと ほのか)

- ① お世話になった母へ。20歳になる今までありがとう。東京へ行ってもんばるね。
- ② みんな活気づいていて、明るい伊達市に住みたい。

辻浦 里智 (つじうら りさと)

- ① 今まで20年育ててくれた両親にありがとう！今までお世話になったみなさん、これから一人の大人として自立したいと思います。
- ② 私たちと同じ世代の人たちが伊達に住みたい、戻ってきたいと思える明るく、活気のある伊達。

三木 志織 (みき しおり)

- ① 無事成人になりました。優しい人になります。
- ② 今の伊達市が好き。

第4回 12月定例議会概要

平成23年第4回定例会は、12月1日から14日までの日程で開催されました。

今回提出された議案は以下のとおり

- 議案
- ・財産の取得について（総合体育館 スポーツ用具の購入）
 - ・財産の取得について（総合体育館 事務機器用品の購入）
 - ・公の施設に係る指定管理者の指定について（伊達市東地区コミュニティセンター）
 - ・公の施設に係る指定管理者の指定について（伊達市有珠地区コミュニティセンター）
 - ・公の施設に係る指定管理者の指定について（伊達市黄金地区コミュニティセンター）
 - ・公の施設に係る指定管理者の指定について（伊達市長和地区コミュニティセンター）
 - ・公の施設に係る指定管理者の指定について（大滝集出荷所）
 - ・公の施設に係る指定管理者の指定について（大滝有機物再資源化センター）
 - ・公の施設に係る指定管理者の指定について（伊達市総合体育館）
 - ・市道の路線の認定及び廃止について（末永4号線・ひまわり1号線など4路線）
 - ・まなびの里条例
 - ・伊達市道路占用料徴収条例等の一部を改正する条例
 - ・伊達市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
 - ・議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例
 - ・災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
 - ・平成23年度伊達市一般会計補正予算（第8号）
 - ・平成23年度伊達市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
 - ・平成23年度伊達市下水道特別会計補正予算（第1号）
 - ・平成23年度伊達市介護保険特別会計補正予算（第2号）
 - ・平成23年度伊達市霊園特別会計補正予算（第1号）
 - ・平成23年度伊達市簡易水道特別会計補正予算（第2号）
 - ・平成23年度伊達市水道事業会計補正予算（第1号）
 - ・協定の締結について（公営住宅駅前団地（A・B地区）買取事業に関する協定）
 - ・平成23年度伊達市一般会計補正予算（第9号）

- 選挙
- ・伊達市選挙管理委員会の選挙管理委員の選挙について
 - ・伊達市選挙管理委員会の補充員の選挙について

可決した意見書は8件で内容は以下のとおり

- ・漁船用軽油にかかる軽油引取税の免税等に関する国への意見書
- ・環太平洋経済連携協定（TPP）交渉への参加表明撤回を求める意見書
- ・国民皆保険の堅持に関する意見書
- ・円高から中小企業を守る対策を求める意見書
- ・災害に強い日本の構築に向けた社会資本整備を求める意見書
- ・鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書
- ・防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書
- ・国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書

平成23年度 一般会計補正予算

2億2,239万円の増額補正を可決しました

主な事業

事業名	予算額	事業概要
地域振興基金積立金	100万円	市民からの寄付金の積立。
民間保育所運営費負担金	692万5,000円	民間保育所（伊達・うす）の入所児童数の増に伴う負担金の増額。
国庫補助金返還金	28万7,000円	平成22年度生活保護適正実施推進事業補助金の精算に伴う返還金。
次世代エネルギーパーク推進経費	70万2,000円	木質ペレットプラントや太陽光発電、風力発電などの自然エネルギー関連施設をネットワーク化し、次世代エネルギーを取り入れた地球環境にやさしいまちとして広く市民情報発信する「伊達市次世代エネルギーパーク計画」を推進するとともに、観光事業として修学旅行等の誘致や営業、PR活動等に活用するため、パンフレット及び観光物産館に設置するパネルを作成する。
緊急雇用創出推進事業	188万8,000円	東日本大震災による姉妹都市等の被害状況を踏まえ、被災者への支援となる重点事業を追加し、更なる雇用機会の創出を図る。なお、財源として北海道の緊急雇用創出事業補助金を活用する。
大滝区活性化促進事業	383万3,000円	平成22年12月に道の駅フォレスト276で新規に事業を開始したナチュラルフロンティアに対し、運営費等の一部を助成する。
広域観光コンソーシアム情報整備事業補助金	235万円	観光物産館において観光情報などの情報発信を行うため、NPO法人だて観光協会が実施する「観光物産館情報提供事業」に対し、事業費の一部を補助する。
観光物産館整備事業	543万4,000円	平成24年3月竣工予定である観光物産館の備品等の整備を行う。
基準超過費用分	2,654万4,000円	国民健康保険特別会計への基準超過費用額に対する協同負担金の繰出金の増額。
東日本大震災水産施設災害復旧事業補助金	5,650万8,000円	東日本大震災でホタテ養殖施設及び共同利用施設が被災し復旧総事業費が多くなっていることから、負担軽減のため復旧費の補助残分等についても一部を上乗せ補助し、漁業経営の安定と漁業振興に寄与する。なお、国の補助金、道の交付金も活用する。
認可保育所等建設補助金	1億1,002万2,000円	ゆとりある質の高い保育を提供するため、社会福祉法の運営による認可保育所及び子育て支援センターの建設事業費の一部を補助する。なお、道の補助金も活用する。
緊急雇用創出推進事業	216万1,000円	東日本大震災による姉妹都市等の被災状況を踏まえ、新たに2名を雇用し、現地との連絡調整をはかる。なお、道の補助金を活用する。

質問 市の介護給付準備基金も全額保険料抑制に使うべきだ。

答弁 介護報酬の改定がまだ示されず、サービスマ見込料も算定中であり、現時点で示せる状況にない。

質問 第五期の介護保険について問う。

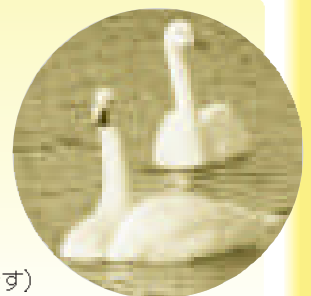
吉野 英雄議員 無党派

平成23年 第4回定例会

一般質問

〈12月7日〉

（質問・答弁は質問者本人がまとめたものです）



答弁 約三億円ある基金残高は保険料抑制に使う考えた。

質問 要支援者を介護給付から外す「総口事業」を導入する考えなのか問う。

答弁 導入は慎重に対応する考えた。来年度実施は難しい。

質問 TPPの市の農漁業への影響額について問う。

答弁 米・麦・ビートの三品目で約八億一千六百万円、酪農約五億九千三百万円と試算されている。転作が進めば野菜の価格低下も予想される。安価な輸入品の拡大によるホタテへの影響も懸念され、雇用や加工など市内経済に与える影響は大きい。

答弁 引き続き、地域経済を守る姿勢で関係団体

質問 TPPにもっと危機感を持って取り組むべきだ。

と連携し、積極的に行動していく。

○その他の質問
・国保税の引き上げについて

・食品の放射能測定器購入の考えなど



TPPの影響が懸念されるビート工場

辻浦 義浩議員 市民クラブ

質問 伊達市内防犯灯について問う。

答弁 平成二十一年から三年間の設置費補助金は、平均一三六万円、電灯料金補助金は、平均五二〇万

円になっている。今後、電灯料金が安くなるなど、LED化は、防犯灯を維持する自治会と電灯料金を補助する市、双方にメリットがあるので推進を図っていきたい。



伊達市内の防犯灯

質問 伊達市役所内インフォメーションについて問う。

答弁 一階ロビーについては展示コーナーに資料が並べられており、分かりにくいことからレイアウトを変えるほか来庁者に案内表示を見やすくすることや戸籍や医療関係窓口など高

齢者や障がい者が利用しやすいよう今後、既存体育館跡地に公共施設の新設を検討している。

○その他の質問
・商工業振興について

小久保重孝議員 市民21

質問 震災後の漁業支援と来年以降の対策について問う。

答弁 激甚災害としての国の支援に加え市は洞爺湖町、豊浦町と同一歩調で支援策をはかった。また漁業者の不安に対しては利子補給と海中に残る養殖施設の撤去の支援を来年度も行う。

質問 学校給食の安心安全と食育について問う。

答弁 次年度中には老朽化した学校給食施設建設替えについてその方向性を示したい。

○その他の質問
・中小企業憲章について
・合同納骨塚建立について



津波により破壊されたホタテ養殖施設の浮き玉

大光 巖議員 公明党

質問 当市の防災対策について、津波避難ビルの指定について問う。

答弁 現在、鉄筋コンクリート造りで三階建て以上の建物を調査しており、調査後に建物の所有者に津波避難ビルの指定をお願いしていく。

質問 当市の防災対策に女性や障がい者の意見の登用について問う。

答弁 避難の困難さや避難所での生活の不便さなど様々な諸課題があると思われるので、意見を聴く機会を検討する。

質問 人工透析対策について、今後の健診等の取り組みと人工透析の予防に向けた対策について問う。

答弁 国の鳥獣被害防止総合対策事業の補助対象となるが、現在、北海道においても国に対し照会中とのこと。これらの状況を見据えながら導入について検討していく。



伊達市の健康増進事業のPRパンフレット

答弁 特定健康診査の検査結果は数値と正常範囲のみを通知していたが、肝

臓機能の低下が疑われる人には肝臓のろ過能力を分かりやすく数値で表すなどの手法を取り入れた保健指導に改める。

原見 正信議員 公明党

質問 空知管内・奈井江町にある精密加工メーカーが開発したLEDを使った鳥獣被害対策装置を導入する考えはないか問う。

答弁 国の鳥獣被害防止総合対策事業の補助対象となるが、現在、北海道においても国に対し照会中とのこと。これらの状況を見据えながら導入について検討していく。

質問 ウロコ舟岡店付近に手押し信号付き横断歩道の設置の見通しについて問う。

答弁 地元自治会からも要望が出されており、北海道公安委員会へ今後とも要望活動を継続して行つていく。



信号機設置が求められているウロコ舟岡店前

質問 携帯電話やパソコンを利用して気軽に利用者のストレス度や気持ちの落ち込み度分かる「こころの体温計」の市ホームページの導入について問う。

答弁 関係機関とも協議し導入について検討をしていく。

委員会報告

総務文教常任委員会

委員長 国本 一夫

財産の取得について

地方自治法の規定に基づき、予定価格が二千万円以上の財産の取得に係る契約の締結について、議会の議決を求めるもの。

〔取得財産は平成二十四年四月二日に供用開始を予定している伊達市総合体育館のスポーツ用具の備品〕

審査の中では、質疑 追加購入の予定、現在の体育館で使用している備品の継続利用はあるか。

答弁 今のところ追加購入の予定はないが、利用可能な卓球台8台はサブアリーナで引き続き活用していく。

質疑 入札基準額の設定方法は、また、入札の際に、メーカー指定はあるのか。

答弁 二社ないし三社から参考見積を徴し、基準額を算定した。また、メーカー指定は入札制度からできないが、同等

品程度の納品ということで指定している。

などの質疑・答弁があり、審査の結果、本案件は妥当なものと認められました。

財産の取得について

平成二十四年四月に供用開始を予定している伊達市総合体育館の事務機器用品の備品の取得に係る契約の締結について、議会の議決を求めるもの。

審査の結果、本案件は妥当なものと認められました。

公の施設に係る指定管理者の指定について

地方自治法の規定に基づき各コミュニティセンターの指定管理者の指定について議会の議決を求めるもの。

伊達市東地区コミュニティセンター

審査の中では、

質疑 手当方式での管理人配置に切り替えるとの事だが、冬場の暖房等に支障はないのか。

答弁 通常、使用開始1時間前くらいに暖房をつけることになっており、今後その方式に変更はないので、支障はない。

いものと考える。

質疑 審査における評価項目の「個人情報保護」とは、どのような内容なのか。

また、「ボランティアの確保」とあるが、有償、無償を問うのか。

答弁 利用者の電話番号、住所等が外部へ流出していない確認のため設けている。また、ボランティアについては有償・無償は問わないが、草刈り等の軽作業を民間業者へ発注していないかなどを評価している。

などの質疑・答弁があり、審査の結果、伊達市東地区コミュニティセンター運営協議会に決定しました。

●伊達市有珠地区コミュニティセンター

審査の中では、

質疑 議案調査したところ、有珠地区コミュニティセンターの利用者が四つの施設の中で一番低いのが、採算面はどうか。

答弁 各施設の維持管理費は、年間の利用人数に関わらず電気代等の経費が掛かるので、採算面については整合性が図

られていない部分もあるが、ご理解願いたい。

などの質疑・答弁があり、審査の結果、伊達市有珠地区コミュニティセンター運営協議会に決定しました。

●伊達市黄金地区コミュニティセンター

審査の結果、伊達市黄金地区コミュニティセンター運営協議会に決定しました。

●伊達市長和地区コミュニティセンター

審査の結果、伊達市長和地区コミュニティセンター運営協議会に決定しました。

●公の施設に係る指定管理者の指定について（伊達市総合体育館）

平成二十四年四月に供用開始を予定している伊達市総合体育館の指定管理者の指定について、地方自治法の規定に基づき議会の議決を求めるもの。

審査の中では、

質疑 来年度以降、プールの建設が始まるが、供用開始となった場合の指定管理者につい

ては、どのように考えているのか。

答弁 新総合体育館と一体となった施設としてとらえ、その時点での指定管理者に管理させることで考えている。

などの質疑・答弁があり、審査の結果、NPO法人伊達市体育協会に決定しました。

まなびの里条例

市民の健康増進と生涯学習の推進並びに有珠地区の振興を図るため、まなびの里公園区域内に整備を進めているパークゴルフ場、人工芝サッカー場、研修施設を総称して「まなびの里」とし、このうちパークゴルフ場が平成二十四年四月からの供用開始を予定していることから「まなびの里」の設置目的及び管理運営等を規定する条例を制定するもの。

審査の中では、

質疑 開設時間が午前八時から午後五時まで（ただし、六月から八月までは、午後六時まで）となっているが、九月、十月あたりまで、午後六時まで開設できないか。

答弁 当初、「日没まで」として

いたものをパブリックコメントを踏まえ時間を確定させたが、条例の第六条で「指定管理者が特に認めるときは、市長の承認を得てこれを変更できる」という規定があるので、柔軟に対応していきたい。

質疑 利用料金は一日につき三〇〇円と設定されているが、市内の民間施設との整合性を考慮した上での料金設定か。

答弁 民間施設の料金にも配慮し、最終的に大滝区の市営パークゴルフ場と同額とした。

などの質疑・答弁があり、審査の結果、本案件は妥当なものと認められました。

議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例

「障害者自立支援法」の改正に伴い、引用している条文について所要の改正を行うもの。審査の結果、本案件は妥当なもの認められました。

産業民生常任委員会

委員長 原見 正信

●公の施設に係る指定管理者の指定について（大滝集出荷所）

大滝区の農業振興施設である大滝集出荷所の指定管理者の指定について議会の議決を求めるもの。

審査のなかでは、**質疑** 委託料はかからないということだが、収支はどうなるのか。

答弁 とうや湖農協に管理してもらいが、料金収入の中で指定管理を行っていたら、積について。

質疑 建物概要における敷地面積について。

答弁 延べ床面積一階二階併せて二五八五・六八㎡である。

質疑 施設の譲渡の手続きが整った場合はどうするのか。

答弁 現在、農協と協議をしているが、譲渡の体制が整うまで若干時間が必要なので、今後も引き続き協議をしていく。

●公の施設に係る指定管理者の指定について（大滝有機物再生資源化センター）

大滝区の農業振興施設である大滝有機物再生資源化センターの指定管理者の指定について議

会の議決を求めるもの。

審査のなかでは、

質疑 施設の利用度はどの位なのか。

答弁 平成二十二年度の販売量は、生ゴミの堆肥で、二・六トン、牛糞堆肥で二三四トン程になっている。近年は販売量が減少傾向にある。

などの質疑・答弁があり審査の結果、NPO法人大滝まちづくり観光協会に決定しました。

市道の路線の認定及び廃止について

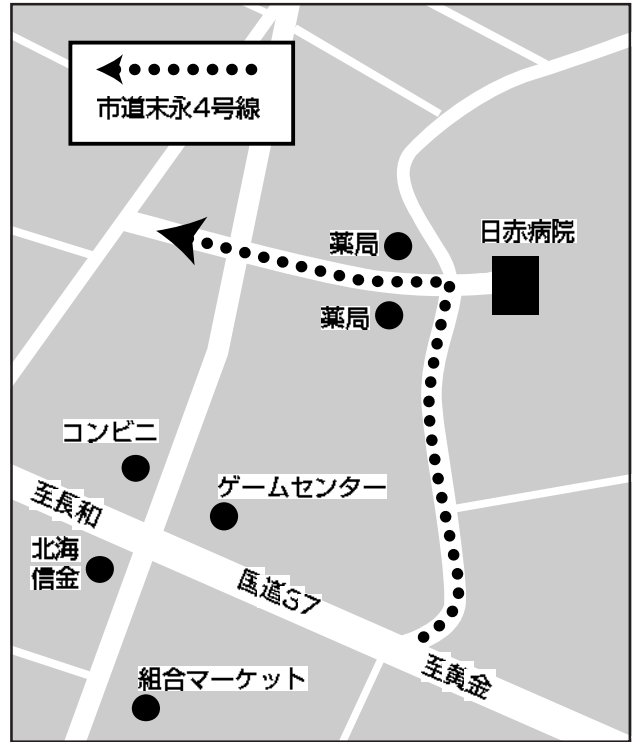
道路法の規定により、市道の路線の認定及び廃止について、議会の議決を求めるもの。

審査のなかでは、

質疑 末永町の市道の出入り口の完成はいつ頃を予定しているのか。

答弁 北海道に対し来年度からの要望をしているが、まだ結果はきていない。来年度からの承諾が得られれば、平成二十四年から二十六年の三万円でいう計画である。

質疑 末永町の市道が国道まで



つながった際の、信号機の設定はどのようなものになるのか。

答弁 国道の管理者である開発建設部と協議しており、普通の信号機を設置することが決まり次第、公安委員会に要望していく。

質疑 末永町の市道用地の取得は伊達赤十字病院からの売却となるが、これまでの伊達赤十字病院への援助策を考えた場合、市民からの納得が得られるのか。

答弁 基幹病院としての伊達赤十字病院を残して行くためにも、交通の利便性と安全性を

持たせた道路が必要であり、

土地の取得については、援助策との兼ね合いも考え交渉にあたるが、買収については通常に行う。

質疑 末永町の市道用地として買収する面積はどの位か。

答弁 用地買収面積は約二〇〇〇㎡になると計画している。などの質疑・答弁があり審査の結果、本案件は妥当なものと認められました。

伊達市道路占用料徴収条例等の一部を改正する条例

道路法施行令及び北海道道路路占用料徴収条例の一部が改正されたことに伴う条例改正について、議会の議決を求めるもの。

審査の中では、

質疑 現在、占用料の収入はどの位あるのか。また、改正後の影響額はどの位になると試算しているのか。

答弁 平成二十三年度の当初予算と改正した場合の額を比較したところ、改正後は約七十七万七千円の減額となる。

質疑 これまで、占用料の所在地の土地用途に応じ、区分けをしてきた理由はなにか。

答弁 道路路占用料徴収条例は昭和三十年に定められたが、当時から分けられていたもので、北海道内の各市で分けているのが当市だけなので、北海道の条例に合わせた。

などの質疑・答弁があり審査の結果、本案件は妥当なものと認められました。

伊達市国民健康保険条例の一部を改正する条例

引き上げるとともに、平成二十二年三月の地方税法施行令の改正により課税限度額が引き上げられたことに伴い、当市においても法令に準拠し、課税限度額を引き上げる改正について、議会の議決を求めるもの。

審査の中では、

質疑 国保の財政赤字を根本的に解消していく手立てとはなにか。

答弁 国からの支援がなくなってきた現在の状況なので、これに対しての国への要望と、市では自主財源の確保が必要になる。今後は、単年度の赤字を出さないことが大事になり、医療費が年々高くなってきているので、出来るだけ伸びを少なくする取り組みが必要と思われる。

質疑 国民健康保険運営協議会では改正について、どのような意見が出たのか。

答弁 「赤字を解消するためにはどの位の税率改正が必要なのか、また、それによる市民への負担がどの位になるのか。」「歳出の抑制策はないのか、滞納分で赤字は解消されるのか。」「収納率を向上させること、伊達市の国保財源の状況を市

民へ周知した方が良い。」

などの質疑・答弁がありました。次に、吉野委員から原案に対する反対討論があり討論を行いました。

その要旨は、

「これまでも条例の改正が行われてきたが国保財政の健全化、赤字解消につながったとはいえ、負担能力を超えた保険税の負担は、滞納世帯・滞納総額の増加となり、収納率向上にも限界が見え始めている。国保財源が赤字を招いた原因は、医療費の国庫負担の引き下げや、国庫補助を廃止し、市町村に負担を押しつけたことにある。保険税の引き上げは、国保財政健全化のため、やむを得ないとしているが、滞納世帯数、資格証明書及び短期証の発行世帯数は増えている状況であり、現行の国保税額でも負担能力を超えており、今回の改正で赤字解消につながらず、逆に滞納世帯を増やし、国保財政の更なる悪化につながる懸念がある。」

というもの。次に菊地委員から原案に対する賛成討論があり討論をおこないました。

その要旨は、

「国保財政の累積赤字は、被保険者の高齢化や医療の高度化などにより医療給付費が年々増加傾向にある中、主財源である保険税収が景気の低迷などで、減収になっていることによるものであり、平成二十年度以降、課税限度額の改正を実施し財源確保を図ったが、経済・雇用情勢の悪化などから税収確保には至らず、収支の均衡が図れず累積赤字が膨らんだものである。市は、医療給付費の抑制策として検診事業等による予防医療や、ジェネリック医薬品の利用促進事業を実施していることは評価ができ、改正案は、少なくとも単年度収入を改善し、これまでの慢性的な赤字体質から脱却し、これ以上、赤字を増大させないためにもやむを得ないと考えられる。」

というもの。
採決の結果、賛成多数で「原案のとおり可決すべきもの」と決定しました。

災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

平成二十三年七月二十九日に

公布された「災害弔慰金の支給等に関する法律の一部を改正する法律」の施行に伴い、引用している本条例を改正することについて、議会の議決を求めるもの。

審査の中では、

質疑 市での予定される事務はあるのか。また、支給金額の決定は市で行っているのか。
答弁 現在のところ、事務はない。支給金額は条例に基づいて必要な調査などを行い支給決定をする。

などの質疑・答弁があり審査の結果、本案件は妥当なものと認められました。

協定の締結について

伊達市公営住宅駅前団地（A地区）買取事業に関する協定の締結について、議会の議決を求めるもの。

審査の中では、

質疑 防災機能に限らず想定している設計変更はあるのか。
答弁 今年度中に策定していく。実施設計の中で検討していく。



質疑 地元業者の取り扱いを含め、入札はどのように行われるのか。
答弁 案件は妥当なものと認められ、

答弁 市の発注と同しく地元業者を優先した中で、指名入札または、制限付き一般競争入札を要望している。などの質疑・答弁があり審査の結果、本

補正予算審査特別委員会の報告

委員長 阿部 正明

十二月六日の本会議で、当委員会に付託された

- 一般会計補正予算（第八号及び第九号）
- 国民健康保険特別会計補正予算
- 下水道特別会計補正予算
- 介護保険特別会計補正予算
- 霊園特別会計補正予算
- 簡易水道特別会計補正予算
- 水道事業会計補正予算

の以上八案件を審査するため、十二日に委員会を開催し、審査を行いました。付託された案件は全員一致で「原案のとおり可決すべきもの」と決定いたしました。

委員会
常任

所管事務調査報告

総務文教常任委員会

委員長 国本 一夫

十月四日、十日及び十一月二十二日に所管事務として調査を行った概要は、次のとおりです。

消防の広域化に伴う現状での課題について

平成十八年六月の消防組織法の改正に伴う消防の広域化に向けて、伊達市・洞爺湖町・豊浦町・壮瞥町の四市町で構成する「西胆振消防組合消防本部」と「室蘭市消防本部」、「登別市消防本部」の三つの消防本部が広域化協議を進めるにあたっての現状での課題について説明を求め、(仮称)西いぶり広域連合消防本部への統合パターンや各消防本部によって異なる職員給与や退職手当制度などの調整といった広域化協議において難航している諸問題の解決策について、調査を行いました。

伊達市さくら幼稚園の今後の在り方について

近年の幼児人口の減少や就労形態の多様化に伴い、保育所需要が増える中、私立幼稚園との共存を含めたさくら幼稚園の今後の在り

方について説明を求め、さくら幼稚園廃止の方向性について、調査を行いました。

北黄金貝塚について

昭和六十二年十二月に国の指定を受けた史跡「北黄金貝塚公園」の運営状況及び現在発掘が進められている「北黄金二遺跡」の調査状況について説明を求め、縄文遺跡群としての世界遺産登録に向けた当市の取り組みについて、調査を行いました。

産業民生常任委員会

委員長 原見 正信

十二月九日に所管事務として調査を行った概要は、次のとおりです。

保育所保育料の改正について

保育料について国から示されている保育所徴収金基準額表の階層区分に、新たな階層が追加されたことに伴い、同様の改正を行うこととした市の保育所保育料について、改正の理由と内容について説明を受け調査を行いました。

一般会計決算審査特別委員会の報告

委員長 篠原 一寿

○平成二十一年度 伊達市一般会計歳入歳出決算
去る十月十二日及び十三日に当委員会を開催し、審査を行い、全員一致で原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

特別会計決算審査特別委員会の報告

委員長 小泉 勇一

○平成二十一年度 伊達市国民健康保険特別会計歳入歳出決算
○平成二十一年度 伊達市老人保健特別会計歳入歳出決算
○平成二十一年度 伊達市下水道特別会計歳入歳出決算
○平成二十一年度 伊達市公共用地先行取得特別会計歳入歳出決算
○平成二十一年度 伊達市介護保険特別会計歳入歳出決算
○平成二十一年度 伊達市霊園特別会計歳入歳出決算
○平成二十一年度 伊達市簡易水道特別会計歳入歳出決算
○平成二十一年度 伊達市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
去る十月十四日に当委員会を開催し、審査を行い、全員一致で原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

他団体会議等報告会

(平成23年12月14日・本会議)

- (1) 西いぶり広域連合議会
 - ・平成23年10月3日～5日 総務常任委員会行政視察
 - ・平成23年11月30日 平成23年 第3回臨時会
- (2) 伊達・壮瞥学校給食組合議会
 - ・平成23年11月28日 平成23年 第2回臨時会
- (3) 西胆振消防組合議会
 - ・平成23年10月3日 平成23年 第2回定例会
 - ・平成23年11月29日 平成23年 第3回臨時会

平成23年度

視察報告

総務文教常任委員会

委員長 国本 一夫

平成二十三年十月二十四日から十月二十六日までの三日間、福岡県春日市、熊本県八代市、福岡県大牟田市の三ヶ所を選定し、先進地視察調査を行いました。

○調査委員／国本一夫、山田 勇、上村 要、犬塚 貴敬、大光 巖、篠原一寿、阿部正明、小泉勇一
○随員／大内壽幸

十月二十四日(月)

○訪問先／福岡県春日市
○調査事項／「コミュニティ・スクールの取り組み」について

○調査内容
春日市のコミュニティ・スクールは、学校運営協議

会（家庭、地域、学識経験者）方式の下に実働組織を置いて子どもを中心とした学校、家庭、地域の三者が役割を担い「共に育てる」という理念のもとに子どもたちを育成している。

十月二十五日(火)

○訪問先／熊本県八代市・城南ブロック消防広域化協議会事務所

○調査事項／「市町村の消防の広域化」について

○調査内容
四つの消防本部が管轄している十五市町村の消防広域化によって、災害時の初動体制の効果的な部隊運営で対応力が強化され、更に一三億円の節減が見込まれる。平成二十五年までに広域化を目指して消防広域化協議会を発足して協議をしている。

○訪問先／大牟田市教育委員会

○調査事項／「地域イントラネットを活用した教育の充実」について。

○調査内容

市の情報センターと各施設を光ファイバーケーブルで結び、地域イントラネットを構築して学校教育に活用している。



八代市の防災センター

産業民生常任委員会

委員長 原見 正信

平成二十三年十月十八日から十月二十一日までの四日間、京都府亀岡市、京都

府綾部市、大阪府八尾市の三ヶ所を選定し、先進地調査を行いました。

○調査委員／原見正信、菊地清一郎、吉野英雄、辻浦義浩、小久保重孝、滝谷 昇、吉村俊幸、嶋崎 富勝、寺島 徹

○随員

佐藤圭美

十月十九日(水)

○訪問先／京都府亀岡市
○調査事項／「カーボンマイナスプロジェクト事業」について。

○調査内容
竹炭を農地へ埋設・炭素隔離を行い、CO2排出量取引による農山村の活性化を推進している。

○調査事項／「月例常任委員会」について。

○調査内容
常任委員会を毎月開催し、所管事務調査を行っている。

○訪問先／京都府綾部市
○調査事項／「商業活性化にぎわいづくり推進事業」

十月十九日(水)

○訪問先／京都府綾部市
○調査事項／「商業活性化にぎわいづくり推進事業」

○調査内容
中心市街地の商業・商店街活性化のため、まちなかの観光と開発の二本柱で推進している。

十月二十日(木)

○訪問先／大阪府八尾市
○調査事項／「高齢者の生きがいづくりと高齢者を介護する家族の支援」について。

○調査内容
高齢者ふれあい農園、家族介護教室、徘徊者家族支援サービスマスター等を行っている。



大阪府八尾市 市役所

会派視察

市民クラブ

○参加者／漢谷真、山田勇、辻浦義浩、菊地清一郎、篠原一寿、阿部正明

○期間／平成二十三年十一月七日から十日まで

視察先及び視察内容

- ▼広島県竹原市
 - ・道の駅たけはら」について
 - ・町並み保存地区（イベント関係）」について
- ▼広島県三原市
 - ・「有害鳥獣対策」について
 - ・「有害鳥獣対策マイスター養成講座」について
- ▼広島県府中市
 - ・「『一括リース契約方式』による防犯灯のLED化について

新政クラブ・無会派

○参加者／小泉勇一、寺島徹吉、村俊幸、犬塚貴敏、上村

要（無会派）

○期間／平成二十三年十一月十五日から十八日まで

視察先及び視察内容

- ▼福井県敦賀市
 - ・「予算決算常任委員会の運営について
 - ・「緑のカーテン大作戦」について
 - ・「シンボルロード化事業」について
- ▼福井県坂井市
 - ・「証明書自動交付機設置」について
 - ・「学生合宿推進事業」について
- ▼石川県加賀市
 - ・「町屋再生事業」について

市民21・無会派

○参加者／国本一夫、嶋崎富勝、小久保重孝、吉野英雄無会派

○期間／平成二十三年十一月十五日から十七日まで

視察先及び視察内容

▼千葉県柏市 千葉大学環境健

康フィールド科学センター

・野菜生産工場の先端技術について

▼千葉県栗原総市

・道の駅『とみうら琵琶倶楽部』全国道の駅グランプリ最優秀賞に輝く道の駅運営について

▼千葉県鴨川市 亀田総合病院

・「全国病院ランキング上位の病院経営」について

▼埼玉県蕨市 蕨市立病院

・「赤字脱却した公立病院経営」について

公明党

○参加者／太光巖 原見正信

○期間／平成二十三年十一月十五日から十七日まで

視察先及び視察内容

▼大阪市 佃連合振興町会

・「地域防災への取り組み」について

▼静岡県 資源循環センター

・「農土香」

・「植物活性剤を活用した堆肥化の取り組み」について

東日本大震災から何を学ぶか

岡田北大名誉教授が講演―市議研修会

胆振・渡島管内六市の道市議会議長会道南支部（伊達、室蘭登別、苫小牧、函館、北斗市）が毎年実施している議員研修会が十月六日、室蘭市で開かれ、岡田北大名誉教授から、「自然災害への備え―東日本大震災から何を学ぶか」と題して講演をいただきました。

岡田氏は東日本大震災による津波で多くの死者が出たことについて、日本の危機管理は不十分だとし、歴史・研究から被害を減らす方法が分かっていたのに、それを知らず共有する仕組みが弱いことを指摘。児童生徒が全員無事だった釜石東中、保育園児が生き残った事例などをあげ、算数の授業の中で津波到達の時間を教材にするなど日頃からの防災教育、日常の訓練でも避難に時間がかかるとを職員が意識していたかが生死につながったことなどを指摘。「想定にとらわれず、危機感を持つ大事さがハッキリした」「教訓を地域の減災に生かしてほしい」と提言をいただきました。



人事案件

選挙管理委員会委員

雲津公子氏
石田壽真子氏
河部律雄氏
今井等氏

同 補充員

國島裕氏
今村勝一氏
河原美千代氏
横井浩氏

Information
お知らせ

議会を傍聴しましょう

今回の定例会は、3月2日から開催され、一般質問は3月8日と9日を予定しています。日程など詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

会議録の検索をご利用ください

議会のホームページから『会議録検索システム』がご利用いただけます。新聞報道などではわからない実際の議論を検索できます。

写真募集

伊達市議会広報誌「みんなの議会」では表紙の写真を募集しています。詳しくは議会事務局へお問合せください。

伊達市議会からのお知らせ



議長 寺島 徹氏



副議長 篠原一寿氏

11月14日に開催しました平成23年第5回伊達市議会臨時会において、議長と副議長の選挙が行われ、投票の結果、議長には寺島徹議員が、副議長には篠原一寿議員が選出されました。

また、新たに西いぶり広域連合議会議員には篠原一寿議員、一部事務組合議会議員（西胆振消防組合議会議員）には犬塚貴敬議員がそれぞれ選出されました。

臨時会で館市弘太議員が総務文教常任委員に、篠原一寿議員が産業民生常任委員に所属が変更になりました。

朗読ボランティア
「やまびこ」との
意見交換会

平成二十三年十一月一日に、目の不自由な方へ議会広報紙「みんなの市議会」をCDに吹き込んで頂いている朗読ボランティア「やまびこ」の役員と議会広報委員会の意見交換会を開きました。輪島玲子会長の挨拶の後、清水悦朗事務局長から活動内容等を詳しくご説明頂きました。二年後に創立二十周年をむかえるとのこと。現在の会員は二十名。朗読技術向上のため、勉強会を年八回講師を呼んでの勉強会も年二回実施しているとのこと。利用者からの依頼で希望図書の録音・発送も行うなど、活動は多岐に及んでいます。見えない人へ言葉で伝えることの難しさや、個人情報関係で障がいを抱える人の把握が難しいこと、録音機材の関係で一般の再生機では再生できないことなどの改善の要望も出されました。

みんなの市議会のCDに「やまびこ」からのお知らせを入れたいとの要望があり、正副議長の了承を得て早速改善しました。その他の要望についても、市の広報広聴と調整を図って行きたいと考えています。

編集後記

厳しい寒さが続きますが、いかがお過ごしでしょうか。新しい年を迎え当市においては、多くの市民の皆さんが念願であった、「伊達市総合体育館」「有珠まなびの里」や「伊達市物産館」がオープンを控え、明るい話題があります。

しかし依然、国内・道内そして地域においても、経済状況は低迷が続いています。改めてこの厳しい時代こそ「市民・行政」が一体となり、次世代を担う子供たちのために「今、心ひとつ」に明るく・前向きに、まちづくりに取り組むべきだと思います。

本年も、議会の広報誌「みんなの市議会」を通じて市政への理解とチェック並びに、議員の活動内容を少しでも市民の皆さんに、知って頂くことで、伊達市発展につながることを思います。また、3月には「定例会」が開催されますので、「百聞は一見に如かず」ぜひ傍聴して頂きたいと思います。最後になりますが、今後も引き続き開かれた議会を目指したゆめまな努力を続けて参りますので、本年も変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

辻浦 義浩

ホームページは <http://www.city.date.hokkaido.jp/gikai/index.html>

広報特別委員会
(8人)

委員長 吉野 英雄 副委員長 辻浦 義浩
委員 菊地清一郎 犬塚 貴敬 小久保重孝 国本 一夫 原見 正信 小泉 勇一

発行／北海道伊達市議会 編集／広報特別委員会 〒052-0024 伊達市鹿島町20番地 TEL 0142-23-3331 FAX 0142-23-1299 E-mail gikai@city.date.hokkaido.jp